

令和6年度町政懇話会議録

開催日時	令和6年4月19日（金）午後7時00分～午後8時40分
開催場所	虹のプラザ 中会議室
出席者	町長 庄司 中 副町長 高橋 裕 教育長 本多 諭 総務課長 土屋弘行 まちづくり推進課長 大山和彦 町民税務課長 早坂勝弘 保健福祉課長 青藤佳幸 産業振興課長 八鍬 誠 建設課長 大沼進悟 教育文化課長 小林基流 議会事務局長 遠藤秀樹
出席者	自由参加

議事概要

1. 開会	土屋総務課長の進行で開会する。（午後7時00分）
2. 町民憲章朗唱	
3. 町長あいさつ	庄司町長が挨拶を行う。
4. 日程及び令和6年度町施策の概要を説明する。	
5. 質疑応答	
参加者	農林業振興に関してですが、地域計画を今年度末まで策定してまいりますということでお聞きしましたが、今回の町の職員の人事異動を見ますと、この策定計画を綿密に策定していくという意気込みが薄いように思われます。本来ですと、農業委員会の方に専門員を置いて、人員拡充したらどうかとも申し上げました。しかし、そうはならなかったのが、町長の職員の異動についてどういう根拠があったのか、またどのような方策をもって計画を策定していくのか、ご答弁をお聞かせしたいと思います。
座長	はい、ありがとうございます。農業策定計画に関してのご質問ありました。これに付随するような、同じような案件事例のお考えをお持ちの方いらっしゃいませんか。それでは、ただいまのご質問に答弁の執行部からよろしく願いいたします。
庄司町長	はい、ありがとうございます。農業委員会に関しましては、課長経験者である鈴木太さんを配置しまして、しっかりと抜け目ないような体制をとらせていただきました。また、これから国や県との協議を密にしながら、しっかりと進めてまいりたいと考えております。
座長	はい、よろしいでしょうか。（異議なし） 他にご質問の方いらっしゃいませんか。質問というよりも、ご意見のある方も構いません。
参加者	人口減少で、結構誰も取り扱いたくない分野なんです、このままいくと限界集落になっちゃうかなと思う。限界集落になるということは、買い物もできなくなるし、

座長	<p>病院もなくなるし、交通の方も途絶えてくる。そういう危機感を近年非常に強く感じる。その対応策として町でどういうふうに対策を打っていくのか。</p> <p>はいありがとうございます。ただいま人口減少に伴っての町の対策についてということで質問がありました。お答えいただきたいと思います。</p>
庄司町長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>まず、子育て政策に関してお話ですが、保育料の無料化を進めます。</p> <p>また、給食費の無料化を進めます。あと入学準備金お祝い金を1年生に上がるときに1万円、小学6年生が1年生に上がるときに3万円、中学3年生が高校生に上がるときに5万円の入学準備金の給付を拡充させていただきました。</p> <p>また不妊治療の助成もこの度、追加させていただきました</p> <p>なかなかですね、こちらから結婚しろと言うのは、今言うとはワハラだったり、セクハラになってしまいますので、結婚したいという方であれば、町ではできるだけ協力してまいりたいと考えております</p> <p>例えば、Aiナビ山形という県が立ち上げたマッチングサイトがあるのですが、そちらは2年間で1万円という登録料がかかりますが、そちらの方も町では1万円の補助を予算化させていただきました。</p> <p>さまざまこれから人口減少や子育て政策に関しては、いろんな施策を考えながら進めてまいりたいと考えております。よろしく願いいたします。</p>
座長	<p>はい、ただいまの答弁、いかがでしょうか。</p>
参加者	<p>はい。確かに対策は出ているかと思うんですけども、この対策は大石田町だけの対策ではないですね。よそはもっと対策を打っていることかと思うんですよ。</p> <p>だとすれば、人口減少の歯止めは今度も同じように進んでいくんじゃないかなと思うんです。要するに、今ここに書いてある2050年は約3080人とそういう状況が見えてくるような気がするんですよ。</p> <p>私にも子どもがいるんですが、子どもには帰ってきてくれと言っている。</p> <p>子ども、孫が2人いて「なんとか帰ってきてくれないか、雪の除雪も大変だ」と言ったところ、「帰っても仕事がないよ」と言われた。</p> <p>これが一番の問題なんじゃないかと思う。だいたい高校生までは、大石田町で住む。しかし、大学になると県外に行く。</p> <p>そして県外で就職する。そうすると大石田町に帰ってこない。</p> <p>要するに高校まで一生懸命お金を費やして、子どもを育ててもお金を落とすところはよそなんですよ。そんな馬鹿げたことを繰り返してやったら、いつまでたっても同じような現象が続くと思う。やっぱり一番は仕事場なんですよ。これをいかに町に作るか、これに尽力を尽くしてほしい。それが切なるお願いでございます。</p> <p>よろしく願いします。</p>
座長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>ただいまが言われたように、高校まではやっぱり親の力でできそうですけども、立</p>

	<p>派になればなるほどやっぱり町から離れているっていうのが今現状だと思います。そういったことを感じていらっしゃる方は他にいらっしゃると思いますので、発言をお願いしたい。町長さんの答弁にもありましたようにいろんな支援をするということは確かにいいんですけども、その支援を受ける側の子どもたちがいないというのは本当に困ったもんだなと私も思います。</p> <p>やっぱり企業を町の方に持ってくるっていうのは一つの大きな目標で、これからきちんとみんなで考えていかないとこのままでは 2050 年のあたりでは約 3080 人というような状況がすぐやってくると思いますので、そういったことをここにいらっしゃる皆さんで、やっぱり行政だけのことではないと思いますので、なんとか皆さんで町を盛り上げる方向に頑張っていければなと思います。</p> <p>他にもっと発言なさってください。お願いします。</p>
参加者	<p>はい、ちょっと町にはですね、耳の痛い話になるかもしれないが、この度の事件ですね。今、謝罪を皆さんしているんですが、実際、その後始末が非常に悪いなと思っているわけです。要するにお金を出し合ってたっていうのが、後始末のような感じで新聞に載ったんです。大石田町の対応はおかしいと思う。長に立つ人は減給で良かったのではないかな。何ヶ月間の減給など、それぐらいの対応があってもいいのかなと。そして、その前にもあった副町長の事件があったと思う。私はゴルフ好きで、あちこちでゴルフに行くと大石田町の話が出てくる。そうすると町民としてもちょっと恥ずかしいなと思うんです。その対応策はいろいろ考えてると言っていますが、私の前の会社では監査部があった。そういうものは大石田町役場ではあるのか。私の前の会社では毎月、監査部の目を通して、お金に関することは全部上がっていくんですよ。そういうものが町にはあったのか。</p>
総務課 土屋課長	<p>総務課の土屋と申します。町の組織体制としましては、監査委員という方がいらっしゃいます。支払など伝票を切ったものが全部出納室に集まっています。そこで金銭の収入支出をチェックするわけなんですけど、今回の件につきましては、出納室以前の段階でした。いわゆる現場における管理体制がよろしくなかったという風な点がございました。そのようなところを改善するという手立てをしております。</p> <p>具体的な手立てについては、教育文化課長より説明します。</p>
教育文化課 小林課長	<p>教育文化課の小林です。</p> <p>先ほどありましたように、具体的なその後の改善策ですが、確認体制について、これまで担当者のみでしていたところを担当者と上司と一緒に確認する。それをさらにまた上の上司も確認するというチェック体制を二重三重にしております。</p> <p>また、現金の取扱いについて、虹のプラザが出納室から離れていたということもあり、以前は一か月分ほど収入がまとまってから、出納室の方に納入していたのですが、そちらを毎日入金するような形に改めております。</p> <p>また、レジの方も交換し、取引の記録の残るようなレジの方へ変えたりというような対策を取っております。</p>

座長	<p>はい、ただいま答弁をいただきました。</p> <p>いかがですか。(異議なし)</p> <p>はい、ありがとうございます。他に関連事項でも構いません。</p>
参加者	<p>先ほど、別の方がおっしゃったように人口減少のことを心配しているんですが、一つは、2050年に約3080人って言ってますけどもあれは全国統計のもので、大石田町・尾花沢市は当てはまりません。ほぼ20年、30年前からのカーブで言いますと、おそらく20年待たないうちに1か月だいたい10人から15人くらい、年間にすると150人くらいになる。そうすると10年で1500人、そういうペースで推移しているようです。それは大石田町だけの問題ではありませんが、それに伴っていろいろな町のボランティアとか、委員で支えているもの、防犯協会などのいろいろな協会とか協議会がほとんど高齢者の方々が入っている状態なんです。安心安全のいろいろなもの、協議会、団体、そういったものを支えているのが私たち今の高齢者なんです。あと10年もしますと、団塊の世代はほとんどいなくなるような気がします。もう、存続出来なくなる。それはもう、明日明日です。20年後の話じゃありません。</p> <p>したがって、あればいいものをやめていただきたい。</p> <p>本当に大事なものだけにしてほしい。子どもの安全安心とか教育とか老人の福祉の問題、見守りの問題。そういった直結するようなもの以外は無くてもいいです。</p> <p>私たちの地区にもなかなか手がないです。子どもはいない、若い人もいない、それで残ってるのは私たち65歳以上の高齢者なんです。</p> <p>それも間もなくあと10年でいなくなります。あればいいだったら、すぐやめていただきたい。その見直しを今からやっていただかないともう間に合いません。よろしくをお願いします。</p>
座長	<p>はい。ただいま、人口減少に伴って、あと10年くらいでもうほとんど団塊の世代がいなくなるというお話ありましたが、これに関しての町長の答弁をお願いします。</p>
庄司町長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>先ほどの区長会でもあまりいろいろな充て職をやめてほしいというお話をお聞きしていました。昔と違って今は65歳だったり70歳でも働いている方が大勢います。</p> <p>区長やさまざまな協議会の委員、民生委員もそうですけれどもなり手不足は十分認識しております。これから機構改革を町で進めていきますのでそれに付随しながら関係の部署と一緒に話し合ったいと思います。ご意見ありがとうございます。</p>
座長	<p>よろしいですか。(異議なし)</p> <p>現実に身に染みるような迫ってくるものがいっぱいありますので、そういったこともあると思われます。</p>
参加者	<p>これは関係があるかないかはっきり私は分からないんですが、ここで急に工場だったり、急に仕事場を作るのは難しいと思います。</p>

	<p>大石田町には結構外国人も来るし、ここの大変な雪も海外からはすごく宝物でもあります。だから外国人観光客を引っ張って、こちらには有名なものがいっぱいあります。例えばさくらんぼのもぎ取り大会などです。最初は子どもや学生たちと協力をして一回やれば、外国人の方は新聞とかで載ったものを世界中で見えています。他にも大人に対しては、蕎麦作り大会なども良いと思います。他の国ではできないことなのでやってほしいと思う。外国人観光客は、あつたまりランドに泊まり、買い物をして、それがその国に行って口づてに広がっていくと思う。</p> <p>ですので、ここに住んでいる外国人たちの意見を聞いてほしいなと思います。</p>
座長	<p>はい、貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>これに関しての答弁をお願いします。</p>
庄司町長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>今年の冬は全然雪がありませんでしたが、役場前の駐車場には汚れた雪がまだありました。それでも外国人旅行者の方々はもの珍しく記念写真を撮っていました。私が写真を撮った方々もいます。やはりおっしゃる通りで、私たちにとっては邪魔な雪ではあるかもしれませんが、外国人観光客にとっては、雪が珍しく十分観光資源になるだろうと感じました。一緒になって様々な施策を行い、ただ銀山に寄って帰るだけじゃなく、大石田町にお金を落とすような、町を回ってもらえるようなことを進めてまいりたいと思います。ありがとうございます。</p>
座長	<p>ありがとうございます。いかがですか。よろしいですか。(異議なし)</p> <p>あるものを利用してという貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>そういったことを参加者の方だけでなく、周りの人たちにも話をしていただいて、点が線になるようにみんなで頑張れば、2050年までのちょっとした時間ですが、皆さんの力がそこに集中すればなんとかなると思いますので、頑張っていければと思います。ありがとうございます。</p> <p>他にありませんでしょうか。</p>
参加者	<p>2つお願いしたいことがありますけれども、私の義理の母親が現在尾花沢病院に入院していますが、紙おむつは尾花沢病院の方から買ってきてくださいと言われます。ですが、紙おむつ代は在宅の介護でないと町の助成もできませんよね。以前、問い合わせたのですが、町の方から助成できないと断られた経緯が私自身ありますので、在宅でなくても、入院していても紙おむつを持っていく必要があるので、在宅と同じような扱いにしてもらえればなと思ったときはあります。</p> <p>あと、産業振興課でしている地域計画についてです。これは、現在農地を受けてもらえるのは各地区に1人や2人です。それがもう0人に近いような状態ですので地域計画を今から果たして1年間でできるのかなと思っているんですが、並大抵のことでは、もうできないような状態になっている。本腰を入れてかかってももらわないと到底できないと思う。よろしく願いいたします。</p>
座長	<p>保健福祉課にて答弁よろしく願いいたします。</p>

保健福祉課 青藤課長	はい。介護支援関係の支援対策なのかと思われます。それにつきましては、他の市町村等の状況を調査をするなど、情報を収集していきながら検討していくという事で対応させていただきたいと思います。
参加者	よろしく願いいたします。
産業振興課 八鍬課長	はい、産業振興課の八鍬です。 地域計画であります、国の方からは令和6年度末まで策定するように指示が来てございます。今日も来ていただいております農業関係の関係者の方々のご協力をいただきながら各地域の座談会も行いながら、何とか今年度中にできるように頑張っていきたいと思うのでご協力の方をよろしく願いいたします。
座長	はい、もう一回持ち帰って検討するという青藤課長の話がありました。 それでよろしいでしょうか。判明した段階で質問者の方にお答え願えますか。
保健福祉課 青藤課長	確認したいと思います。
座長	はい、じゃあ確認待ちということでよろしく願いします。 農業に対しての地域計画に対して、八鍬課長の方からありました。そんな内容でよろしいでしょうか。
参加者	はい。
座長	その他にありますか。
参加者	こういう会議があると、毎回言っているのですが、大橋の架け替えの問題です。新大橋の歩道はできないと言うのと、法面もできないと町からありました。先日、子ども見守り隊の会議で話しましたが、中学校の教頭先生が大橋は非常に危ないと言っていた。狭くて歩道がなくて生徒が危険だと言う話がありました。まして年寄りが歩くのはなおさら危険だと思いますので、町報には結果的にはお金がないからできませんと書いていたと思いましたが、これは、お金の問題と人命の問題とどちらが大事なのかと言う話になるのではないかと思います。 ぜひ、歩道は検討してもらわないと。お願いします。
座長	はい、答弁をお願いします。
建設課 大沼課長	はい。建設課の大沼です。 まずはご意見ありがとうございます。 町としても、当然歩道は欲しいです。 あれば安全性が増すということはおっしゃるとおりであると考えております。国の

	<p>方にも要望させていただきまして、まずは検討していただきました。ただし、残念ながら今回の大橋の架け替えについては、現在の大橋の機能を補償するというところで、国では歩道は補償することができないというような回答をいただいたところで、</p> <p>ただし、現在の大橋の規格が90年前ほぼ100年前の規格でございますので、その規格のまま補償するわけにはいかないということで、かなり幅については広がることになっております。図面であったり、数字で皆様にこれまでお示ししてきて、なかなかイメージできない部分があるのではないかとということで、現在、役場のロビーの方にその実際の幅を体感できるように模型を掲示しております。</p> <p>ぜひそれを見ていただければ1.5メートル程度広がりますので、車道が十分に確保できて、それでもなお歩行者にとって、安全で通行できる幅員を確保できていると感じておりますので、まずはそれを実際に見ていただきたいと思っております。当然、命に代えることなどはとてもできませんが、そういったことで安全性を確保していきたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。</p>
参加者	せめて歩道にポールとか立てることはできないんですかね。
建設課 大沼課長	これもこれまでの説明会でもお話しした通り、歩道スペースと車道の部分は何かしらで分ける方法もありますので、そういったことは現在検討しております。
座長	<p>はい、ありがとうございます。やはりいろいろな問題がありますが、でもお互い頑張っていくということでご理解いただければと思います。</p> <p>やはり一人で解決できる問題でないのが県とか国とか町だけの問題ではないということもあって大変ですが、大石田町に生きている私たちにとっては安心安全の町で生活したいという思いがありますので、やはりみんなで真剣に考えるべきだと思えました。よろしいですか。(異議なし)</p> <p>はい、ありがとうございます。</p>
参加者	<p>よろしくをお願いします。</p> <p>先ほどから町長さんからの今年度の方針がありましたが、目新しいものが全然ないんじゃないかと思えます。他の自治体と同じだし、大石田として特徴あるものがないんじゃないかと思えます。</p> <p>そして、私は言うのは、やはりここに来て皆さんと話しているのが私も含めてなんですけれども、もう高齢で70何歳の方が議論しているんです。</p> <p>実際これから私たち高齢者が住んでもあと10年とかです。このような企画とか、重要施策をするというのに対して若い人、例えば、30代、40代の方が大石田の特徴がある方針を出すのに関わっているのかなと思う。</p> <p>30代、40代でしたら、これから大石田には20年、30年住むと思うんです。この施策を出しているのが高齢の方からだいたい出ているのであれば、おかしいと思う。せつかく、さっき町長さんがいい話を言ってますけれども、補助とか、全体的にどこの自治体でもやっているような話です。大石田町は、これというすぐ目立つような、若い人が良かったというような、意見が全然見当たらないのでそ</p>

	<p>れをちょっと私はショックを受けていたんです</p> <p>本当にこれから住む人が20年、30年大石田に住みたいような企画が入っていればいいんですけど、高齢者が10年住んで喜ぶような企画ではちょっとダメなんじゃないかなと思って聞いておりました。</p> <p>ただどこがダメというわけではないですけども、そこらへんに対して責任者たる人たちがどういうふうに考えているかということを知りたいなと思います。</p>
座長	<p>はい。質問者さんの方からすごくいい質問がありました。</p> <p>これに町長さんお答えお願いいたします。</p>
庄司町長	<p>周りと一緒にじゃないかというお声も確かにあるかもしれませんが、今の給食費無料は北村山地域では完全無償は大石田だけです。おっしゃるとおり30代、40代からの意見が何かないかというご意見ですが、先日かわまちづくりというワークショップをさせていただきました。</p> <p>20代、30代、40代の方々も多く集まってこれからの大石田を考え、こんなことしたらいいんじゃないか、こんな大石田になったらいいんじゃないかというお声をたくさんいただきました。これから、架け替えの問題と堤防引堤、そしてかわまちづくりの中で新しい、若い世代が大石田に住んで良かったなと思えるような施策をみんなと一緒に考えながら進めてまいりたいと思います。</p> <p>また、私たちの前にいる子どもたちは、今は子どもたちの姿をしておりますけれども彼らは未来の私たちそのものだと思っております。教育分野もしっかりとして、子どもたちのために何ができるか、明日の大石田を考えながら進めてまいりたいと思いますのでご理解いただきたいと思います。よろしく申し上げます。</p>
座長	<p>はい、よろしいですか。</p>
参加者	<p>その通りだと思うんですけど、本当に今言った施策に対して、若い人がとか言ってますけども、本当に喜んでるのかという確認なんです。</p> <p>それによって、我々が押し付けてるような施策だったら、それで満足してはダメだと思うんですよ。若い人が本当に喜んでるという施策をやってもらっているのであればいいんですけども、そこらへんがただ通り一遍じゃないかなと思う。こういうことやってるから若い人が喜ぶんじゃないかなという気持ちでしてないか。</p> <p>先ほど言った話に対してもちょっと引かかる。本当に若い人が1万円無償してくれたから「ああよかった、よかった。大石田大したもんだ。」っていう気持ちになるような施策でないとダメなんじゃないかなと思う。ただ、よそはやってないことをやって、大石田だけやってることだというだけの気持ちになってるところを、本当の若い人たちがよかったって思うような施策にしてほしい。</p> <p>なので、年寄りが満足するような施策ではダメじゃないかな、若い人喜ぶんじゃないかなっていう気持ちでの施策はダメかなと思ってます。</p>
座長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>私たちだけでは、町を支えられないんですね。若い人たちからも支えていただかな</p>

	<p>いと。ただ、それをお願いしますっていうのもなんか若い人たちに対して大きい声で言えないっていうような感じが私もしています。</p> <p>そういうところを若い人たちが、大石田町の年配の高齢者ってすごく文化の街にふさわしい人たちがいっぱいいるなって思えるような状況にしていけないといけない。ありがとうございます。</p> <p>若い人たちに本当に大石田町っていいなって思えるように明日からやっていきましょう。他にありませんでしょうか。</p>
参加者	<p>はい。大石田町にも外国人観光客の方が結構いるんですよ。</p> <p>そういう方に、もうちょっと大石田町に滞在できるような施策を考えていただきたいなと思います。あと一時間とか二時間とか車を遅らせるような対策をどうやったらできるかなっていうのを考えてほしい。</p> <p>もう一つ、せっかく大石田のそばおいしいとこれだけ言ってもらえるわけですから、もうちょっとPRをして他県から人を呼べるような施策を考えてほしい。南陽市ではラーメン課、じゃあ大石田はそば課を作ったらどうかなというふうに思うがいかがでしょうか。</p>
座長	<p>はい、庄司町長さんお願いいたします。</p>
庄司町長	<p>はい、ありがとうございます。今年の3月までに地域おこし協力隊として、英語と中国語を話される末石さんがおられました。このたび4月からですね仲通り地区に民泊施設を立ち上げ、これからまたインバウンド対策をいろいろとしていくというお話をお聞きしました。</p> <p>東雲観光さんも袴を着て、大正ロマン溢れる格好で银山の方に送迎されたりなどの施策をしております。そういったことをされている方々と一緒になって、いろんな話し合いを持って観光促進を進めていければなと思います。</p> <p>そば課の方に関しては、すぐできますとは言えませんが、いろいろこれから検討してまいりたいと思います。ありがとうございます。</p>
参加者	<p>また、教育文化振興事業の取組みについてなんですけれども、今度は教育長さんに質問します。令和9年の4月に統合され、小中一貫校とすることは必然的なものかなと思うんですが、私が聞きたいと思うのは、統合した場合、廃校舎ができるわけです。その廃校舎をどういうふうに活用していくか、それとも解体にしていくのかというのを、その跡地のことを、お聞きしたいなと思います。</p>
教育文化課 小林課長	<p>統合後の現在の小学校3つある建物の有効活用についてということになりますけれども、現在、全国的な資料を集めております。また、庁舎内部の検討組織を立ち上げまして、まちづくり等に使えるような町の施設に活用できないか、また、民間の力を活用することへの検討、その他にもどんな活用の仕方があるかというところを現在検討しておりますので、解体というわけではなく、有効活用していきたいと考えております。</p>

本多教育 長	<p>私の方からよろしいですか。今あったとおりで、この跡地というか、残った学校校舎をどう活用していくかというのを建ててから考えるのではなくてですね、同時に進めていく必要があるということで進めてまいりました。</p> <p>それがさっきの役場内の組織を立ち上げているところということでございます。</p> <p>もう一つ、先ほど5つの部会と申しあげましたけれども、学園づくり委員会の中で、細かいことを決めないと、調整していかないと、統合はいきなりできないんですね。ですので、5年間のスパンを設けたわけです。その部会の中の一つにも教育環境部会というのがございまして、そこでもいろいろとご意見を頂戴して、それを先ほどの役場の中の組織に通して、町民の皆様にもご意見をいただきながら検討してまいりたいと思います。</p>
座長	<p>令和9年度の小中一貫校の進め方も、もうかなり前からやっているんだと思いますので、いろんな案件を踏まえながら、やっぱり進めるということが大事なのかなと思いました。他に同じような案件で、お持ちの方いらっしゃいませんか。同じでなくても構いません。どうぞ。</p>
参加者	<p>子どもたちが誇りに思える笑顔溢れる元気な町づくり、非常にいいことですし、ぜひこの後ろには、これまで、大石田町を作り、支えてきた高齢者のこともあるかというふうに思っておりますので、ぜひ頑張ってくださいと思います。</p> <p>私の方からは、行政のそれぞれトップにいる皆さんですから、ぜひ地域のいろんな課題があるわけなんですけれども、そういう地域の課題の解決をするための場作りをぜひ、中心的に行っていただけないかなというふうなことでお願いをしたいと思います。具体的に私どもの方で話をしますと、流雪溝の関係です。</p> <p>流雪溝が施設として存在をしているのに、使われていないというところがあるんです。この問題を解決しようと思いつながら何年もかかってやってるんです。昨年の秋も要望書を出させていただきました。</p> <p>でも、なかなか解決しません。そこに関係する人が非常にみんな難儀してるわけですね。例えば、井出の区長さんは、毎朝雪が降ると暗いうちから水を見に行ったりとか、いろいろ苦労してるわけです。そのようなところ、私どもの方で利用する人は大変で水がなくて困っているというような状況があって、そういうことを話し合う場を、いろんなところで、やっぱりそれぞれの立場の意見を、顔をあわせさせていただいて、そういう場を作っていただくことで解決できることがあると思います。ぜひその任務を担っていただきたい。こういうことでお願いをさせていただきます。</p> <p>例えば、あの、高桑川の場合ですと、流雪溝の協力会の方で、全部管理するわけですから、取水から含めて、途中での雪詰まりから全部やるわけです。</p> <p>井出の区長さんが水の管理で、朝早くからさっき言ったようにしているし、雪詰まると役場の職員が、行って走っていくというようなことで、そういう意味では、それぞれが苦労しているので、ぜひ、緑町の流雪溝の問題も解決していただきたい。</p> <p>また、協力会に加入をできるような体制を、ぜひ作っていただきたい。</p> <p>協力会に加入させない、施設があるのに、加入をさせないというのは、これは、もったいないことだなと思っています。</p> <p>ぜひ、これをお願いしたい。解決できるかどうかはわかりません。ただ、そういう</p>

	<p>場を、本当に、行政側としては、作り上げていかなければならないんじゃないかなと強く思っています。</p> <p>ぜひ、そういう場を、まずは作っていただきたいと思います。</p>
座長	<p>ありがとうございます。</p> <p>答弁をお願いします。</p>
建設課 大沼課長	<p>はい。昨年の秋にも今のようなお話をお聞きしておりました。解決に向けて、課内であつたり、協力会の方であつたり、ご意見を頂戴してまいりました。</p> <p>なかなか、ネットワークを構成しているものですから、一朝一夕に、対応できず、利用者の皆さんには、歯がゆい思いかけているというところは、大変申し訳なく思っております。調整の場を、設けることについては、可能な限り早くに、開催できるように、検討していきたいと思っておりますので、ご意見として、頂戴させていただきたいと思っております。</p>
座長	<p>よろしいでしょうか。(異議なし)</p> <p>ありがとうございます。</p>
参加者	<p>町のホームページを見ておりましたら、大石田町の公共工事に係る違約金請求事件の経緯について、見つけることができました。</p> <p>町が起こした、違約金請求事件について時系列的に、いつどういう形で裁判を起こしたというところがあったのですが、町ホームページを町民全員が見ることはないもので、重要なことについては、紙ベースできちんと説明していただければと思います。</p> <p>特に、違約金請求事件については、町費を多額に支出しております。</p> <p>弁護士費用が2000万ほど、山形地裁、仙台高裁については、270万ほどの手数料を支払った民事事件です。なおかつ、この民事事件の原告が、大石田町になっています。その代表が前町長の村岡町長だったということです。</p> <p>こういうことを考えますと、このようなものについては、紙ベースで周知をしていただければと思います。総務課長の方が、ホームページを管理をいただいていると思っておりますので、答弁いただければと思います。</p>
座長	<p>土屋総務課長から、答弁をお願いいたします。</p>
総務課 土屋課長	<p>はい。それでは、ただいまご要望いただいた件につきまして、現在、おっしゃる通り、ホームページの方に違約金事件のこれまでの経過につきまして、掲載をしておりますところでございます。</p> <p>紙ベースで周知してほしいとのことですが、内部の方で、少し検討させていただければと思いますのでよろしくをお願いいたします。</p>
参加者	<p>はい。では、検討の方をよろしく申し上げます。</p> <p>経緯についての中で記載されている金額等でありませけれども、工事に係わって、</p>

	<p>3件ほど、補助金やら地方債の一部の返還を行ってきたというふうに、ありました。合わせて、7800万円ほど、補助金の返還と地方債の繰り上げ償還があったわけですが、これは刑事事件を誘因として、不正不当事件だとしてそれぞれの交付団体から返還を命じられたということで間違いないか。</p>
座長	<p>答弁をお願いします。</p>
総務課 土屋課長	<p>ただいまのご質問でございますが、刑事事件を発端としまして、借入れ先の方から強制繰り上げ償還が生じたということは間違いございません。</p> <p>ただ、返す原資となるものは、契約した際の違約金をもって償還をしております。</p> <p>町の純然たる、いわゆる税金などの部分からの、返還金ではありませんので、その点をご理解をお願いしたいと思います。</p>
座長	<p>はい。以上のような答弁でよろしいでしょうか。</p>
参加者	<p>違約金を特定財源的に取り扱ったという風に聞こえるわけですがけれども、違約金等についてはいろいろな解釈があるかと思しますので、この場では控えておきたいと思えます。ありがとうございます。</p>
座長	<p>いろんな情報がいっぱいあるんですけども、確かな情報を自分で見つけるという努力も、やっぱり今の時代していかないと、何でもかんでも信用するというわけにもいかないし、特に世界での紛争なんかを見ていると、どっちが良くてどっちが悪いのかというのは、もう混乱して分からないような状態なので、そういったこともやっぱり、正しい情報を見極めていかないといけないと感じます。</p> <p>他にありませんか。</p> <p>せつかくです。もう少し時間ありますので、どうぞ遠慮なさらずにお願いいたします。</p>
参加者	<p>本多教育長に質問します。先ほど、教育長から部活動地域移行のことについて、説明があったのですが、準備委員会から現在検討委員会の方に格上げになっているというような話だったかと思うんですが、進捗状況をもう少し具体的に、今、どのような課題があるのか、そして、その課題について、どのような取り組みを今後やっていくのか、もう少し具体的に説明をしてもらいたいなと思えます。</p>
座長	<p>では、教育長、よろしくお願いたします。</p>
本多教育 長	<p>はい。ありがとうございます。部活動の地域移行につきましては、本当に県内でも、国の方でも、大変スムーズに進んでいるとは言い難い状況であるというのが事実としてあります。それだけ難しいということだと思います。</p> <p>大石田町の場合、準備委員会の段階では、各団体の方で進めてきて、検討委員会には、保護者の方々、各部活動の指導者などに入っていました。</p> <p>そして、生の声を取り入れながら、課題と現状等を、できるかどうかなどを踏まえ</p>

	<p>検討しているところでございます。</p> <p>土日の移行につきましては、やっぱり指導者の問題があり、できるところと、できないところが、まだある状況です。柔道や野球は可能だと思われるとのことですが、移行するためには、体制の構築が必要で、そこを試しながら進めているという状況でございます。</p> <p>また、他県では土日だけではなく、一気に放課後の活動として部活動ではしないと取り組んできているところもございます。尾花沢市は、土日については今年から行わない。全てクラブなどで行うこととしている。平日は先生方が指導しています。でも、土日の大会には先生は引率はするが練習先への申込みなどは保護者が行うようにしているなど、はっきりと線引きをして、全て進んでいるというわけではない。大石田町の場合は、以前と同じようにするつもりです。ただし、移行ができるようなところでは、試しにやってみるということを、今年度に行う予定です。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
参加者	はい、ありがとうございます。
本多教育長	<p>補足ですが、先ほど説明にて任意加入制と申し上げたんですが、これまでも任意加入制ではあったのですが、全員が加入しているような状況でございました。</p> <p>今度は正式に、部活動には入らないという子も出てきているということです。そうしたときに、部活動自体が本当に成り立っていくのかどうか、ということも踏まえながら状況を見ていく必要があります。まだ正式な、今年の人数については、今月いっぱい決まるようなところがあるため、その結果も、踏まえながら、進めたい。総体が終わった後あたりに、もう一度、会議を開いて、今後の方策を考えていくというようになると思います。</p>
座長	はい。ただいまの答弁でよろしいですか。
参加者	はい、ありがとうございます。
座長	<p>他に、いらっしゃいませんか。</p> <p>ありませんでしょうか。</p> <p>はい、ありがとうございました。</p> <p>時間がもう少しあるんですけども、発言がないということでもよろしいですか。それでは、ないということで私の方からも質問なんですが、大勢の方からご意見ないし、検討してほしいという要望がありました。</p> <p>それに対して各関係者が説明したわけですが、今回いろいろな問題を出していただいたものを、文字で出すんでしょうか。こういう質問があったということの後々に分かるように、文字にちゃんと書いていただいて、問題提起した方とか、名前は必要あるかどうかは分からないが、それに対しての答弁がどうであったかという、そういうものをきちっと残していただけますか。</p>
総務課 土屋課長	はい。今回の開催につきましては、町報などでも取り上げる案件でございますので、詳細についてはご意見やそれに対する答弁などについては、町報などで皆様方に知っ

座長	<p>ていただければと思います。よろしくお願いします。</p> <p>はい。ただいま総務課長からありましたように、今日のことはちゃんと残りますので、これをもって、前に進む一歩になればいいかなと思いますので、よろしくお願いいたします。ご協力いただきましてありがとうございました。</p> <p>これで、町政懇話会を終わらせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
6. 閉 会 （午後8時40分）	